

社会福祉法人 埼玉のぞみの園

# 法人だより No.15

編集発行 埼玉のぞみの園法人本部 〒369-1105 埼玉県深谷市本田3343 編集責任者 理事長 山崎 勝  
発行 埼玉県障害者団体定期刊物協会 〒332-0011 埼玉県川口市元郷1-10-13

定価1部 50円

近隣施設の方と

「共に学ぶ」をテーマに、  
「マイナンパー」の勉強会  
を開催しました

社会保険労務士 正木様・行政書士 宮田様による、マイナンパー制度の勉強会を行いました。近隣施設職員様と法人職員を含め23名の参加がありました。

勉強会の内容は、

1. 制度の仕組み
2. 将来はどうなる？
3. 覚えておきたい4つのこと
4. 4つの実務ポイントとは？
5. こんなデマ情報に注意！
6. 実施スケジュールとは？
7. 労務管理上、手間のかかる準備事項とは？
8. 行政書士から見た制度について

来年1月1日から施行となるマイナンパー制度。今何をすればよいかを考える良い機会となりました。

(松本)



活発に質疑応答を取り交わす場面もありました。(H27.7.17撮影)

## 一般ご協力者様

(順不同・敬称略にて御容赦願います。)  
平成27年7月5日 平成27年9月  
※平成27年9月30日現在

- 金野綾子
- 本木勇之助
- 榎本千二
- 妻沼つくし 作業所後援会
- 深谷たんぼ 親和会
- 山崎勝

御厚志を大切に福祉の向上に活かします。

## 土地一坪運動

### ご協力者様

(順不同・敬称略にて御容赦願います。)  
平成27年7月5日 平成27年9月  
※平成27年9月30日現在

- 大沢美知子
- 社会福祉法人 江南会
- 障害者支援施設 熊谷
- 施設長 齊藤重子
- 小林一紀

### 現在の「寄付額

五、三九九、八四三円  
(平成27年9月30日現在)

新施設建設のために大切に使用します。

## 後援会

### ご協力者様

(順不同・敬称略にて御容赦願います。)  
平成27年7月5日 平成27年9月  
※平成27年9月30日現在

- 田沼恵美子 山崎勝 浅見洋子
- 浅井寛子 三田加奈子 加藤広行
- 大島一哉 小林豊子 飯塚竜也
- 内田雅文 八木綾香 坂本弘道
- 新悦郎 橋本小百合 戸井田幸枝
- 松本康男 福島君江 権田節子
- 榎澤正範 田沼大輔 持田和樹
- 鎌田仁孝 我妻清美 長崎宏士
- 土田友紀 藤野操 高荷明
- 増田正 備前島賢光
- 岡崎江梨花 佐藤智浩 新井隆史
- 久住峰子 伊藤ハツ子 高橋昭男
- 加藤義父 倉上征四郎 植竹喜代
- 横川静雄 関根七五三 加藤良江
- 芝千代子 金谷善二 榎本千二
- 齊藤堅次 金井茂子 栗田岩治
- 寺田和夫 武井精肉店
- 島田秀雄 岩松正江 小池松子
- 榎田部井木工所 森清子
- 真下千代 小島剛雄 真下武文
- 有中央自動車 吉野教子 野本馨
- 富田和朗 ローヤル電機(株)
- 渡辺宏道 木村彰秀 柴田達雄
- 加藤菊二 橋本新一 小柳由美子
- 榎仲設計 北爪禎子 山田やす子
- 荻原賢弘 齋藤玉枝 鶴谷豊治
- 羽賀貞雄 (株) 社会 齊藤商店
- 茂呂敏行 望月光明 小林昭
- 茂木英代 落合佳祐 後藤智枝子
- 栗原喜良 加藤朋美 柴田浩子
- 高月恒雄 鯨井昭二 大澤晋
- 神尾晃 田島久雄 上森靖雄
- 須田とめ子 横塚重光 原田百代

## リスクマネジメント

埼玉のぞみの園

理事長 山崎 勝

過日、法人内で起こりました事故報告2例について、私見を交え、リスクマネジメントを述べさせていただきます。

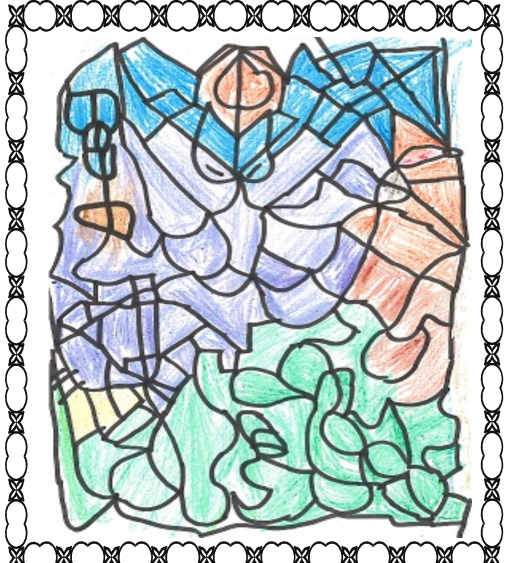
1つ目は児童預かり中に、急に外に飛び出そうとした男児を危険と思い、止めようとして階段を踏み外して転倒、そのスタッフは、肘の骨折をはじめ大変な怪我を負ってしまったこと。2つ目は職員の見守りに対し苦情申し立てが出たこと。実は他にもいろいろ問題がありますが、この事例から受講した研修を通し、法人として、また福祉職として、取り組んでいかねばならない事について、記していきます。

### 管理者の現場ラウンドの重要性

リスクの早期発見には、管理者の現場ラウンドが必須であると思います。なるべく定時に現場を回ること昨日との違いが発見できる可能性を見い出せると考えています。現場スタッフは日々、目の前の仕事に夢中です。現状を通常の状態と考えると、変化に気づきにくいという盲点があるのです。ラウンド中に利用者や職員に声をかける事は「気兼ねなく話が出来る風土を醸し出す」と思うのです。この事がリスクの軽減や事故発生時の重大化の阻止へと繋がっていくと感じています。

### 構造的なリスクの早期発見と情報の共有

利用者の訴え・気になる行動・支援が上手くいっていない等、生じた事象に対して対症療法的な対応に終



「言葉にならない想い」

深谷たんぼ 久住一大

え「物申す」意味ではありません。またヒヤリハット報告や記録を作成しても「意味がない」という思考、何事も自分の中だけで抱え込む：これらを変えて行く必要があります。福祉職は往々にして優しい人が多いと言われていますが、其れゆえに言えない、注意出来ないという職員も多いと聞きます。然しそれでは社会的に通用する組織にはなりません。

始していないか？これは勿論根本的な解決にはならず、次から次へと新たな問題が生じて現場は疲弊するのみです。そこで「何か構造的なリスクがあるのでは？」という発想が重要になり、同じリスクによる将来的な事故を未然に防ぐことになると考えます。

### 事象を集積しやすい「網」を組織内に拡大

介護現場に基本は？と問われれば利用者の話をよく聞くという事に尽きます。然し、職員は、現場の業務に忙しく振り回されているというのが実態です。

そこで先に述べた、管理者・リーダーの定期的なラウンドや職員だけでなく利用者との会話も、管理者・リーダーによる定時の記録チェックやカンファレンスのヒヤリングも、ヒヤリハット記録提出のルール化や口頭・投書での訴え窓口も、おおよそ施設の記録というものは、過去の訴訟等で鑑みると客観的な証拠にはなり得ないし、社会的にまっとうに見られないのが実情であります。憶測や私情を入れない客観的な定期の記録が大切なのです。

### 確実な事例集積には組織文化の改革が必要

どんな小さなことでも仲間同士、上司と部下の間で忌憚なく言い合える、報告し合える文化が必要です。(斜に構

(後援会)ご協力者様 つつき)

- 長谷川一美 中島敬吉 新門峯子
- 新門孝之 新門祐次 定方英樹
- 坂上福男 小林一男 荻原常由
- 荻原泰佳 荻原信博 秋山政司
- 齊藤志げ子 真中一也 赤石達夫

心より感謝を申し上げます。

### 職員異動のお知らせ

10月1日より、配属・役職に異動がありましたので、ご案内いたします。

- 【春日園・第2春日園・法人本部】
- ・坂本弘道 課長補佐 ↓ 課長
- ・松葉正枝 課長 ↓ 課長補佐
- ・新悦郎 是る工房 ↓ 厨房主任
- ・藤野操 厨房主任 ↓ 是る工房
- ・大澤司 第2春日園 ↓ 春日園
- ・内田雅文 春日園 ↓ 第2春日園
- ・曾根晴飛 春日園 ↓ 法人本部

### 第2春日園 新課長



坂本課長より  
微力ながら、第2春日園発展のために力を尽くしていきたいと思っておりますので、ご支援、ご鞭撻をよろしくお願い致します。

### はる工房 新店长



藤野店长より  
皆さんに「おいしい」「また来ます」と言ってもらえるお店を利用者の皆さんと共に創って行けたらと思っております。

### ハインリッヒの法則に従うならば

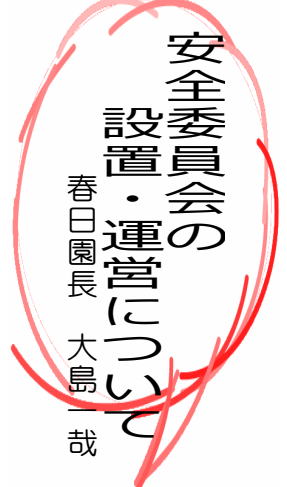
生命等にかかわる重大事故が1件あればその陰に軽微な事故は29件起き、更にヒヤリハットは300件を数えるといえます。要はすそ野に当たるヒヤリハット段階で、同じ要因による事例を一つ解決していけば、重大事故は抑える事が出来るということ。しかし、このすそ野（底辺）をしっかり確定させる事が大切です。

### 重大化の構造を探る

リスク解決については他に譲るとして、軽微な事故が「重大化」することについて記しておく必要があると思います。利用者の重大化・重症化に伴い、ADLや慢性疾患の低下が進む、骨折リスクや肺炎等の重症化リスクの増大は「重大化」の察知が難しくなり、思わぬ結果を招くこともあり得ます。大したことはないだろうという予測が通用しなくなり、場合によっては訴訟問題にもなり得ます。

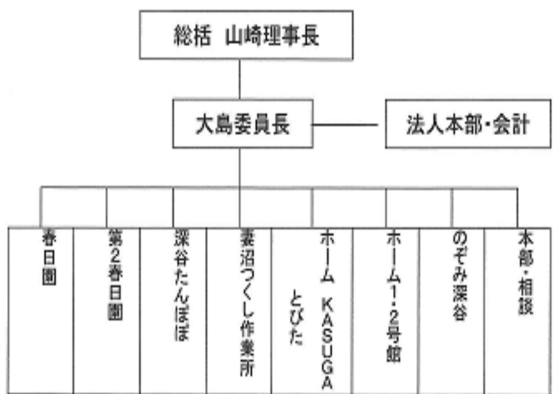
日頃からの利用者・家族との意思疎通等の信頼される対応が、自身を守る上でも、とても大切な行為であるといえます。相談・クレーム窓口の必要性は、問題解決のフローが明確になると共に、家族の求める要求と現場の提供できるサービスの狭間を埋める事が出来る。これには接遇対応の教育が有効です。それでも事故は防ぎようがなく、必ず起るものです。起こってしまった事故

を最小化・減少化するためには、組織の改善を図っていかねばならないのです。



去る平成27年9月1日、春日園2階会議室において、安全衛生推進者養成講習の終了者に対して「法人安全委員会メンバー」として辞令交付が行われ、ここに下記に示す組織及び人員において「法人安全委員会」が設立されました。

【法人安全委員会 組織図】



この委員会は「事故の「未然防止」・起こった事故は「繰り返さない」の視点を目的とし点検する。又、他の施設の良いところは「取り入れる」姿勢で実施する。点検は、利用者のみではなく従業者の環境も対象とした視点で行う」という、法人安全委員会設立の目的のもと、毎月1回・25日を検査日の基準とし、各施設の安全衛生推進委員（以下・調査員）が2人1組となり、自分の所属していない施設へ行き、建物備品・処遇・職場環境に関する点検項目について、施設内を限らず巡回しチェックを行うと共に、管理者、サビ管、他の職員及び利用者より聞き取り調査を行うものである。その結果について調査員は5日以内に報告書を作成し委員長に提出する。委員長は上がった報告書の内容を確認後、速やかに点検施設及び各施設にFAXを送る。点検施設においては報告書の点検結果に基づき、改善を要する事項に記載がある場合は、改善案及び改善の段取り等を報告書に記入し、また管理者、サビ管の意見等を記載後、委員長にFAXにて回答を寄せる。その他の施設においては報告書の記載事項及び意見等を参考に、自らの施設の現状と照らし合わせるなどチェック機能として報告書を活用する。委員長は改善案、改善の段取り、意見等が記載された報告書を確認後、理事長に報告し総括を記載して頂き、毎月第2木曜日に開催される法人連絡会にて報告をする。右記のような流れで法人安全委員会の調査員が施設に入り、調査し改善されることにより、その目的を果たすこと

とに繋がると考えます。各職員が共通認識を持ち施設が一体となって、利用者や職員の安全と生活を守るよう、法人安全委員会メンバー及び各施設の職員一人ひとりが平常時から対策にこころがけその役割を果たしてまいります。

平成27年度

### 人事考課の開始にあたり

法人本部 鯨井昭一

埼玉のぞみの園人事考課は今年で4年目を迎えました。今年度から管理職員も開始され、全ての正規職員を人事考課の対象とする事になりました。

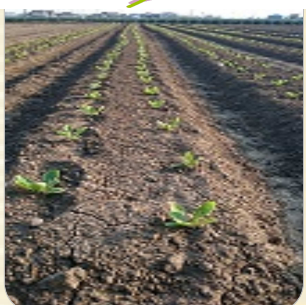
今年度の改正点としては、「埼玉のぞみの園の職員像の反映」「虐待の知識・職員同士のコミュニケーションや態度の確認」等を追加しました。行った業務の成果のみではなく、職員の在り方も盛り込んだ内容となっております。上司と部下及び経験年数のある職員と少ない職員の双方が1対1で意見・考えの照らし合わせを行うことは、日常業務の中ではなかなかできないことと、面接はとも貴重な時間と考えられています。

人事考課を書面のみで「評価する・評価される」という視点ではなく、伝えたいこと・普段話さないことを伝える場としても活用してほしいと考えています。

### 妻沼つくし作業所

### 秋冬野菜の植え付けをしました

毎年、この時期に秋冬野菜の植え付けを行います。昨年は、時期を逃してしまい、思ったように生育しませんでした。今年、順調に育っています。今年も「白菜」をはじめとして「レタス」「キャベツ」「ブロッコリー」「人参」とそれぞれ移植が終わりました。収穫時期は12月下旬から1月末を予定しております。



収穫間際になりましたら、ブログでお知らせしますので、ぜひご注文をお願いします。

妻沼つくし作業所 問合せ先048-588-6890

### 深谷たんぽぽ

### ふっちゃん特別デザインの自動販売機を導入

飲み物の種類も豊富で設置してすぐに売り切れ商品がでるくらいの勢いです。お金を入れて商品を選びジュースを買うという行動に、最初はとまどっていた利用者さん達も、今では休憩時間の一いつの楽しみになっていて、感じがします。



深谷たんぽぽ 問合せ先048-572-1668

### のぞみ深谷営業所

### 10月より、行動援護サービススタート

これまでのぞみで行う外出支援では、地域生活支援事業の中の移動支援や生活サポート事業がありました。そこに障害福祉サービスのうちの行動援護が加わります。対象者の条件はありますが、計画的な充実した支援が実施できることとなります。一度、お問合せください！

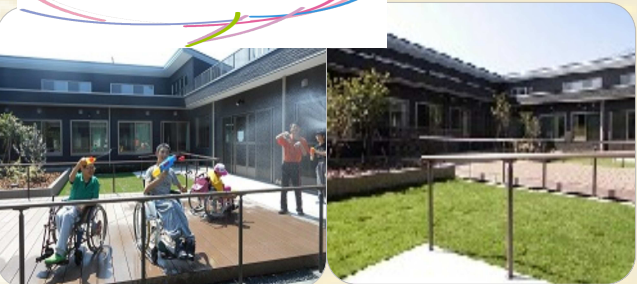


夏休み、寄居町川の博物館にて♪（放課後等デイサービス）

のぞみ深谷営業所 問合せ先048-577-5318

### 春日園

### 中庭がきれいになりました



春日園改築工事から期間を置いて、中庭の整備がこのたび完了しました。やっぱりグリーンがあると気持ち良いですね！夏には皆で、スイカ割りや水鉄砲を楽しみました。レクリエーションに使用したり、ホッと一息つく場所だったり、中庭の出番は今後も多くなりそうです♪

春日園 問合せ先048-577-6661

### 第2春日園

### 敬老会ならぬ…感謝の会開催！



『まだまだ現役！年寄り扱いはまだ早い』の声が上がり、敬老会改め「感謝の会」に。お寿司屋さんによるマグロの解体ショー＆美味しいお寿司に舌鼓。にっこり笑顔の会になりました♡

第2春日園 問合せ先048-583-5451

### のぞみの園ホーム

### 救急救命講習会

高齢・重度化するご利用者の緊急時に対応する為、のぞみの園ホームでは定期的に救命講習会を開催しています。有事にはどうしても慌ててしまうもの。繰り返し練習することが大切だと考えています。



深谷消防署のご指導のもと、真剣に講習を受ける職員たち。

のぞみの園ホーム 問合せ先048-578-7882